

蝶ヶ岳ボランティア診療所

代表者 医学研究科 教授 酒々井真澄

連絡先 suzui@med.nagoya-cu.ac.jp

URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/igakf.dir/chyogatake.htm>

連携・協力者

蝶ヶ岳ヒュッテ、安曇野日赤病院、相澤病院、長野県警察本部航空隊

ポイント

学生と医療者ボランティアによる山岳医療をささえる社会貢献活動です

1 概要

- 名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所はボランティア活動を通じた社会貢献を目的とし平成 10 年度に蝶ヶ岳 (2,677m) 山頂直下にある蝶ヶ岳ヒュッテ内に設置されました。本診療所は高地医学、遠隔地医療および環境保全に関する研究・教育の場としての役割も備えており、毎年 7～8 月の期間に学生、教員、卒業生などが診療活動に参加しています。
- 蝶ヶ岳山頂から医師の常在する場所までは徒歩で片道 5 時間を要するため本診療所は登山者にとって多大な恩恵となっており、29 年に 20 周年を迎えました。

2 活動内容

- 30 年は 7 月 16 日から 8 月 19 日まで 35 日の診療期間で、患者 134 名 (高山病 28%、外傷 20%、筋肉痛・関節痛 12%、虫刺症 11%、その他 29%、ヘリ搬送 1 名) の診療を行い、スタッフ 61 名 (医師 29、看護師 18、薬剤師 6、理学療法士・救急救命士等 8) と学生 76 名が活動に参加しました。
- ヒュッテ内で行われる雲上セミナー (期間中 24 回実施) では「高山病の症状と予防」などのテーマで安全登山を啓発しています。30 年は日本登山医学会学術集会 (東京都) にて研究成果「蝶ヶ岳での登山中の水分摂取量 (mL/kg/h) と高山病発症発症との関連」を発表しました。
- 安曇野日赤病院 (中野武院長) とは下山後の患者フォローや緊急的な酸素ボンベの提供サポート、相澤病院 (吉池昭一救命救急センター長) とは重症患者受け入れ、長野県警察本部航空隊 (宮崎茂男隊長) とはヘリコプターでの救急搬送などの連携事例があります。



毎日午後 8 時から行う
症例検討会の様子



隔日の午後 7 時から行う
「雲上セミナー」の様子



蝶ヶ岳ヒュッテには名古屋市立大学
蝶ヶ岳ボランティア診療所があります
開所期間: 7月中旬～8月中旬

～高山病の予防～

★ゆっくりと深い呼吸を!!

★こまめな水分補給を!!

蝶ヶ岳登山では 1.5～2L の水分補給を心がけましょう

～高山病の症状～

頭痛・不眠・食欲不振・吐き気・むくみ
空咳・息切れ・疲労・脱力感

★★特に注意する症状

安静時の息切れ

泡を伴った咳

トチンカンな応答



安全登山への啓発活動の重要アイテム「予防的介入カード」

3 成果

- 30 年までに約 3,000 名 (例年約 130～200 名) の患者の診療に携わってきました。
- 活動の様子は新聞やテレビ番組でも取り上げられ、社会貢献の実地教育として大きな意義がある活動であると社会的にも認知されるようになりました。
- 28 年 1 月には北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会より当該診療所の功勞に対して感謝状をいただきました。